

学校運営協議会 議事録

校名	府立りんくう翔南高等学校
校長名	藤田 繁也

開催日時	令和2年10月7日(水) 14時～15時
開催場所	府立りんくう翔南高等学校 プレゼンテーションルーム
出席者(委員)	筑紫 繁人、田中 正視、岡崎 裕、山口 晃 (欠席)江田 優紀、寺脇 久人
出席者(学校)	藤田校長、妻木教頭、杉野事務長、井内首席、田中首席、分掌長、学年主任 (記録)岡村教諭・野村教諭
傍聴者	なし
協議資料	(1)今年度の取組みと現状報告 (2)今年度の取組に対する質疑応答、と意見・助言
備考	

議題等(次第順)	
<p>1. 校長挨拶(今年度前半の教育成果を報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートについて、今年度7月は平均3.25、昨年度同時期3.18で0.07ポイント向上、すべての項目で向上している。 ・国際交流は今年度訪問することが難しい状態、昨年度交流した樹人事務商業職業学校にビデオレターを送った。今年度は香港インターナショナルカレッジとweb交流を行う予定。 ・電子黒板が今年度全クラス教室に導入を完了。 ・緊急時のメーリングサービスへの登録、ほぼ全世帯に連絡がつくようになっている。 ・水泳部だが、1年の部が標準タイムを上回り近畿高等学校水泳新人大会に出場、今後が楽しみ。 <p>2. 学校の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新2年生コース選択予備調査(新2年でハートフルほいくコース希望者が42名) ・進路状況 現在受験校及び受験企業が確定した。進学ではほとんどの生徒がAO、指定校推薦。就職は今年度例年の9月16日解禁が10月16日解禁に。 ・保健室来況及びスクールカウンセラー活用状況 多くなっており、精神的悩みを感じながら登校している実態が背景にある。 ・年度当初に臨時休業があったことで、なかなか新たな学年としてのテンションが上がらなかった。 ・修学旅行については、検討を重ねた結果、延期を決定した。 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>3 質疑応答、意見(協議案件はなく、中間報告に対する質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートが向上した理由は？(教育従事者) → ネット環境の改善が大きい、さらに、教職員と生徒の間により強い信頼感が生まれていることも重要(校長)。 ・進路決定にあたって、やはり近くの学校や企業を選ぶ人が多いか？(地域住民)→おっしゃる通り、近いところを選ぶ傾向がある。(進路)、ハートフルほいくコースでは、学校連携で授業をしてくれている学校への希望者が多い(教頭)。 ・今年度国際交流をwebで実施するというので、香港の学校ということだそうだが、香港で現在起こっていることも生徒は知っていると思う。このような状況で現在起こっている情勢について、もし交流の中で出てきた場合はどうするのか？(学識経験者) → 生徒の発言を制限することは本来しないほうが良いが、向こうの学校の担当者と事前にしっかり打ち合わせて対応していきたい。また、web交流に教職員もつくと、もし質問等で簡単に答えられないものがあれば、教職員が対応する。(校長、担当首席) ・ハートフルほいくコースの人数が42人となっているが、ハンドリングは難しいのか？→複数のクラスに展開しており、今年度の3年生も、2年生の時41名だったので、それほど難しくはない(教務)。 ・学校カウンセラーの役割が大変大きいと思うが、現在どのくらいの時間来てもらっているのか？ → 月に5時間(保健・教頭) ・ひと月5時間では、人数が多くなると難しくなるのでは？(学識経験者)→確かに厳しいが、現在は相談内容によって、短時間相談と長時間相談をうまくバランスさせて相談に乗っていただいている(保健・教頭) <p>4 校長閉会挨拶</p> <p>本日いただいたご意見、ご指導、ご助言は可能な限り明日からの教育活動に活かしていきたい。超スマートの時代、物的なインフラは欠くことはできないが、同時に人的な教育インフラを忘れてはならない。教職員一同、変革の時代であるからこそ不易である「教育は人なり」を再認識して教育活動を推進してまいりたい。</p>	

次回の会議日程	
日時	令和3年2月 日()00:00～ 日程は後日調整
会場	本校プレゼンテーションルーム